

インド	1291.5	122.0	108.7	88.8	261.2	116.7	43.3	25.0	16.1	57.6	211.3
タイ	856.4	65.1	129.2	69.7	87.5	73.6	31.4	50.6	33.6	11.5	182.5

注：死亡率は2000年の世界人口で標準化したもの。

第3章 全国サンプル地域でのがんによる死亡及び構成

1. サンプル地域でのがん死亡状況

(1) がん死亡率及び変化の傾向

今回の調査では、全国サンプル地域において合計19万3841人のがん死亡症例が収集された。そのうち男性が12万4174人（全体の64.06%）、女性が6万9667人（同35.94%）であったことから、全国サンプル地域におけるがん死亡率は人口10万人当たり135.88人と算出される。そのうち男性が170.17人、女性が99.97人である。

1982年の第3回国勢調査の年齢構成に調整を加え（以下同様）、がんの標準化死亡比は人口10万人当たり91.24人で、そのうち男性が119.51人、女性が63.70人、男女比は（女性を1として）1.88である。がんの死亡率の上昇は年齢構成の影響によるもの大きい。

過去2回の死亡原因調査と比較すると、中国のがんによる粗死亡率は、20世紀1970年代中期に実施された第1回調査から83.13%上昇し、1990年代初めの第2回調査から25.51%の上昇している。標準化死亡比は、第1回調査から20.69%増、第2回調査からは3.31%減となった。

過去2回の調査時からがん死亡率の段階的な変化特性について比較分析すると、20世紀1970年代から1990年代にかけて、がん死亡率は粗死亡率、標準化死亡比のいずれも明らかに上昇傾向にある。これは「絶対的な上昇期」といわれ、この期間のがん死亡率の上昇は中国の年齢構成の変化による影響を受けるだけでなく、発がん要素など年齢によるものではない事由の影響も受けるとされる。第2回調査から現在までは、中国のがん死亡率は継続的に上昇しているが、年齢調整死亡率は減少傾向にある。これは「相対的な上昇期」といわれ、この期間のがん死亡率の上昇は主に年齢構成の変化による影響を受けたものであることを示している（表3-1）。

表 3-1 第3回全国死亡原因調査：がん死亡率及び変化の傾向

指標	調査年代			1973～1990年 変化 (%)	1990～2004年 変化 (%)
	1973～1975年 (1/10万)	1990～1992年 (1/10万)	2004～2005年 (1/10万)		
死亡率					
男女合計	74.20	108.26	135.88	45.90	25.51
男性	84.54	134.91	170.17	59.58	26.14
女性	63.41	80.04	99.97	26.23	24.90
標準化死亡比					
男女合計	75.60	94.36	91.24	24.81	-3.31
男性	90.80	123.57	119.56	36.09	-3.25
女性	61.30	66.30	63.70	8.16	-3.92

(2) がん死亡率及びその変化の地域的差異

表 3-2 は中国の都市部や農村部など異なるタイプの地域におけるがんの粗死亡率と標準化死亡比で、都市部のがん死亡率は農村部より高いことがわかる。都市部も農村部も、東部は中部より高く、中部は西部より高い。粗死亡率をみると、都市部は農村部より 16.7%高い。東部都市部は西部都市部よりも 24.9%高い。東部農村部は西部農村部よりも 43.7%高い。こうしたことから、がんの粗死亡率の差異は、都市部と農村部の違いより、異なるタイプの地域における差異の方が大きいことが分かる。

都市部と農村部の標準化死亡比をみると、都市部は人口 10 万人当たり 91.4 人、農村部は 91.2 人でほとんど差がなく、がんの粗死亡率の差異は都市部と農村部の違いではなく、主に人口の年齢構成の影響を受けることがわかる。異なるタイプの地域において、東部の都市は中部や西部の都市よりも低く、中部都市は西部都市よりも高くなっている。また東部と中部の農村は差異がほとんどなく、いずれも西部農村よりも高いなど、上述の粗死亡率で述べたような規則性は見られない。

表 3-2 2004～2005 年のサンプル地域のがん死亡率及び構成

地域	男女合計		男性		女性	
	死亡率	標準化死亡比	死亡率	標準化死亡比	死亡率	標準化死亡比
	1/10 万	1/10 万	1/10 万	1/10 万	1/10 万	1/10 万
都市部農村部合計	135.88	91.24	170.17	119.56	99.97	63.70
都市部						
合計	150.18	91.41	187.16	119.28	112.10	65.01
東部	164.51	88.52	204.46	116.88	123.82	62.30
中部	144.58	96.05	179.97	124.87	107.80	68.66
西部	131.67	91.24	165.65	117.09	96.39	65.45
農村部						
合計	128.65	91.19	161.69	119.72	93.75	63.00
東部	148.14	96.40	188.41	128.56	106.40	65.15
中部	132.02	96.93	163.86	126.12	98.21	68.28
西部	103.09	78.14	130.11	101.92	74.17	54.09

(3) がん死亡率及びその変化の性別による差異

前 2 回の調査と比べると、都市部と農村部を問わず、男性も女性もがん死亡率は上昇傾向にある。20 世紀 1970 年代から 1990 年代の間、農村部の粗死亡率が急速に上昇 (50.11%) し、都市部 (36.60%) よりも上昇スピードが速かった。1990 年代から現在は、都市部の上昇率 (33.41%) が農村部 (20.50%) を上回っている。

年齢構成の変化が死亡率に及ぼす影響を差し引けば、近年の中国の都市部におけるがん死亡率は男性女性を問わず上昇幅はごく小さなものとなり、農村部では減少傾向がみられる (表 3-3)。

表 3-3 第 3 回全国死亡原因調査：都市部と農村部のがん死亡率

	1973～1975 年 (1/10 万)	1990～1992 年 (1/10 万)	2004～2005 年 (1/10 万)	1973～1990 年 変化 (%)	1990～2004 年 変化 (%)
粗死亡率					
都市部男女合計	82.41	112.57	150.18	36.60	33.41
男	94.88	139.89	187.16	47.44	33.79
女	69.20	83.29	112.10	20.36	34.59
農村部男女合計	71.12	106.76	128.65	50.11	20.50
男	80.60	133.15	161.69	65.20	21.43
女	61.27	78.91	93.75	28.79	18.81
標準化死亡比					
都市部男女合計	83.70	89.80	91.41	7.29	1.79
男	101.10	117.62	119.28	16.34	1.41
女	67.00	63.22	65.01	-5.64	2.83
農村部男女合計	72.80	96.45	91.19	32.49	-5.45
男	87.20	126.25	119.72	44.78	-5.17
女	59.40	67.72	63.00	14.01	-6.97

(4) がん死亡率及びその変化の年齢による差異

表 3-4 は都市部と農村部の 5 歳ごとの年齢層に分けたがん死亡率である。ざっと分析すると、0～14 歳の児童期では、都市部のがん死亡率が相対的に農村部よりも高い。15～64 歳の青壮年期は、都市部のがん死亡率が相対的に農村部より低い。65 歳以上では、都市部の死亡率が農村部よりも高い。

表 3-4 2004～2005 年のサンプル地域の都市部と農村部の年齢層別がん死亡率 (1/10 万)

年齢層 (歳)	都市部	農村部
0～	8.63	8.11
1～	5.34	4.89
5～	4.30	3.37
10～	4.51	3.57
15～	5.67	7.87
20～	5.90	7.97
25～	8.41	10.22
30～	18.60	19.34
35～	35.50	42.07

40～	68.52	71.25
45～	113.11	116.73
50～	190.00	220.16
55～	280.78	340.06
60～	399.77	455.29
65～	650.64	631.70
70～	1012.34	901.90
75～	1333.23	1088.67
80～	1630.06	1254.91
85+	1597.42	1194.99

第2回調査と比べると、70歳以下の各年齢層（0歳の層と15歳の層を除く）はがん死亡率が減少幅は異なるものの、いずれも低下線を辿っている。そのうち青年及び中年層の減少幅が最大で30%を超している。一方70歳以上の年齢層ではがんによる死亡率が明らかに上昇した。そのうち70歳の層は4.89%、75歳の層は28.50%、80歳の層は49.38%、85歳以上は54.04%上昇しており、がん死亡率は年齢層が高まるにつれ上昇していることがわかる（表3-5）。

表3-5 1990～1992年、2004～2005年のがん年齢層別死亡率及び変化

年齢層（歳）	1990～1992年	2004～2005年	1990～2004年
	死亡率（1/10万）	死亡率（1/10万）	死亡率変化（%）
0～	7.70	8.26	7.27
1～	5.10	5.02	-1.57
5～	4.10	3.63	-11.46
10～	4.20	3.81	-9.29
15～	6.50	7.17	10.31
20～	9.70	7.27	-25.05
25～	14.90	9.61	-35.50
30～	25.30	19.09	-24.55
35～	46.40	39.74	-14.35
40～	82.60	70.22	-14.99
45～	139.40	115.36	-17.25
50～	218.30	208.84	-4.33
55～	345.30	318.27	-7.83
60～	530.50	435.08	-17.99
65～	691.70	638.65	-7.67

70～	898.80	942.73	4.89
75～	917.00	1178.39	28.50
80～	928.90	1387.59	49.38
85+	866.40	1334.58	54.04

2. サンプル地域でのがん死亡分類及び構成

世界保健機関/国際がん研究機関（WHO/IACR）の分類統計に基づくと、中国のサンプル地域では合計 59 種類のがんが確認されている（男性 50 種類、女性 59 種類）。統計結果から、この 59 種類のがんの死亡率は差異が非常に大きく、最低の死亡率では人口 10 万人当たりで 0.01 人未満（結合組織、軟組織）である一方、死亡率が最も高い肺がんでは 30.61 人に達している。男性は 50 種類のがんの死亡率分布が、人口 10 万人当たりで 0.01～41.14 人で、女性は 55 種類のがんの死亡率分布が 0.01～19.63 人となっている。

表 3-6 は各種がんの死亡率、標準化死亡比、死亡原因構成を示している。59 種類のがんのうち、男女合わせての死亡率が人口 10 万人当たり 10 人を上回るのは、肺がん、肝がん、胃がん、食道がんの 4 種類である。この 4 種類のがんによる死亡数はがんの総死亡者数の 71.41% を占めた。死亡率が 1～10 人の間だったのは 14 種類で、総死亡者数の 22.44% を占めた。その他の 40 種類余りのがんは死亡率が 1.0 人以下で、総死亡者数の僅か 6.15% であった。

表 3-6 2004～2005 年のサンプル地域住民のがん死亡率及び構成

部位	ICD-10	合計			男性			女性			性別比 (女=100)	
		死亡率 1/10 万	標準化列 亡比 1/10 万	構成比 (%)	死亡率 1/10 万	標準化列 亡比 1/10 万	構成比 (%)	死亡率 1/10 万	標準化列 亡比 1/10 万	構成比 (%)	死亡率 1/10 万	標準化列 亡比
唇	C00	0.03	0.02	0.02	0.04	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	2.00	3.00
舌	C01～ C02	0.16	0.11	0.12	0.22	0.15	0.13	0.09	0.06	0.09	2.44	2.50
口	C03～ C06	0.29	0.19	0.22	0.39	0.27	0.23	0.20	0.12	0.20	1.95	2.25
唾液腺	C07～ C08	0.05	0.03	0.04	0.06	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	1.50	1.33
扁桃腺	C09	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	2.00	2.00
その他の口咽	C10	0.06	0.04	0.04	0.08	0.06	0.05	0.04	0.02	0.04	2.00	3.00
鼻咽	C11	1.46	1.01	1.07	2.05	1.46	1.21	0.84	0.55	0.84	2.44	2.65
喉咽	C12～ C13	0.04	0.03	0.03	0.07	0.05	0.04	0.02	0.01	0.02	3.50	5.00

咽、部位不明	C14	0.14	0.10	0.11	0.22	0.15	0.13	0.07	0.04	0.07	3.14	3.75
食道	C15	15.21	9.97	11.19	20.65	14.32	12.14	9.51	5.74	9.51	2.17	2.49
胃	C16	24.71	16.16	18.19	32.46	22.50	19.08	16.59	9.99	16.60	1.96	2.25
小腸	C17	0.28	0.18	0.20	0.31	0.22	0.18	0.24	0.14	0.24	1.29	1.57
大腸	C18	2.66	1.70	1.95	2.92	1.99	1.71	2.38	1.43	2.38	1.23	1.39
直腸	C19～ C20	4.59	2.97	3.38	5.27	3.62	3.10	3.88	2.36	3.88	1.36	1.53
肛門	C21	0.17	0.11	0.13	0.19	0.13	0.11	0.16	0.10	0.16	1.19	1.30
肝	C22	26.26	17.86	19.33	37.54	26.43	22.06	14.44	9.20	14.45	2.60	2.87
胆嚢及びその他	C23～ C24	1.26	0.81	0.93	1.15	0.79	0.68	1.38	0.84	1.38	0.83	0.94
膵	C25	2.62	1.72	1.93	2.94	2.04	1.73	2.28	1.42	2.29	1.29	1.44
鼻	C30～ C31	0.16	0.12	0.12	0.20	0.15	0.12	0.12	0.08	0.12	1.67	1.88
喉	C32	0.87	0.58	0.64	1.32	0.92	0.77	0.40	0.25	0.40	3.30	3.68
気管、気管支、肺	C33～ C34	30.83	20.24	22.70	41.34	28.60	24.30	19.84	12.18	19.85	2.08	2.35
その他の胸腔器官	C37～ C38	0.16	0.12	0.12	0.21	0.15	0.12	0.11	0.08	0.11	1.91	1.88
骨	C40～ C41	1.70	1.22	1.25	1.99	1.48	1.17	1.39	0.96	1.39	1.43	1.54
皮膚の黒色腫	C43	0.14	0.09	0.10	0.16	0.11	0.10	0.11	0.07	0.11	1.45	1.57
その他の皮膚	C44	0.51	0.31	0.37	0.57	0.39	0.33	0.45	0.24	0.45	1.27	1.63
中皮腫	C45	0.08	0.05	0.06	0.08	0.06	0.05	0.07	0.05	0.07	1.14	1.20
カボジ肉腫	C46	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	1.00	1.00
末梢神経、その他の結合組織、軟部組織	C47、 C49	0.11	0.09	0.08	0.12	0.10	0.07	0.11	0.08	0.11	1.09	1.25
乳房	C50	2.90	1.98	2.13	0.03	0.02	0.02	5.90	3.97	5.90	0.01	0.01
外陰	C51	0.02	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.04	0.02	0.04		
膣	C52	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.02		
子宮頸部	C53	1.40	0.94	1.03	0.00	0.00	0.00	2.86	1.89	2.86		
子宮体部	C54	0.79	0.54	0.58	0.00	0.00	0.00	1.62	1.08	1.62		
子宮、部位不明	C55	1.33	0.90	0.98	0.00	0.00	0.00	2.71	1.80	2.72		
卵巣	C56	0.71	0.48	0.52	0.00	0.00	0.00	1.44	0.97	1.45		
その他女性生殖器	C57	0.04	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.08	0.05	0.08		

胎盤	C58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01		
陰茎	C60	0.06	0.04	0.04	0.12	0.08	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
前立腺	C61	0.97	0.56	0.71	1.89	1.21	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
睾丸	C62	0.05	0.03	0.04	0.09	0.07	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の男性生殖器	C63	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
腎	C64	0.64	0.44	0.47	0.86	0.60	0.50	0.42	0.28	0.42	2.05	2.14
腎盂	C65	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	1.00	1.00
尿管	C66	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	1.00	2.00
膀胱	C67	1.41	0.85	1.04	2.13	1.40	1.25	0.66	0.36	0.66	3.23	3.89
その他の泌尿器	C68	0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.00	0.01	3.00	
眼	C69	0.05	0.04	0.03	0.05	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	1.25	1.00
脳、神経系統	C70～ C72	3.13	2.37	2.30	3.50	2.71	2.06	2.74	2.03	2.74	1.28	1.33
甲状腺	C73	0.22	0.14	0.16	0.19	0.13	0.11	0.25	0.15	0.25	0.76	0.87
副腎	C74	0.04	0.03	0.03	0.05	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	1.67	2.00
その他の内分泌腺及び関連組織	C75	0.07	0.05	0.05	0.08	0.06	0.05	0.06	0.04	0.06	1.33	1.50
ホジキン病	C81	0.19	0.13	0.14	0.23	0.17	0.13	0.15	0.10	0.15	1.53	1.70
非ホジキンリンパ腫	C82～ C85、 C96	1.24	0.88	0.91	1.52	1.12	0.89	0.94	0.63	0.94	1.62	1.78
悪性免疫増殖性疾患	C88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
多発性骨髄腫	C90	0.26	0.18	0.19	0.29	0.21	0.17	0.22	0.15	0.22	1.32	1.40
リンパ性白血病	C91	0.53	0.46	0.39	0.61	0.54	0.36	0.45	0.38	0.46	1.36	1.42
骨髄性白血病	C92～ C94	0.35	0.30	0.26	0.42	0.35	0.24	0.29	0.25	0.29	1.45	1.40
細胞型不明の白血病	C95	2.96	2.67	2.18	3.24	2.96	1.90	2.67	2.39	2.67	1.21	1.24
その他または部位不明	O&U	1.84	1.25	1.36	2.17	1.55	1.28	1.49	0.94	1.49	1.46	1.65
部位合計	ALL	135.86	91.23	100.00	170.15	119.55	100.00	99.95	63.69	100.00	1.70	1.88

3. サンプル地域での主ながんの分析

(1) がん死亡率上位 10 位及び構成

サンプル地域における粗死亡率の高いがんの上位 10 位は順に、肺がん、肝がん、胃がん、食道がん、結腸及び直腸がん、白血病、脳腫瘍、乳がん、膵がん、骨がんである。

肺がんはサンプル地域において死亡率が最高のがんで、粗死亡率は人口 10 万人当たり 30.83 人で、がん死亡者全体の 22.70% を占めた。以下、死亡率が高いのは順に、肝がん（人口 10 万人当たり 26.26 人、がん死亡者全体の 19.33%）、胃がん（24.71 人、18.19%）、食道がん（15.71 人、11.19%）、結腸及び直腸がん（7.25 人、5.23%）で、これら 4 種類の消化器系統のがんで、がん死亡者全体の 53.94% を占めた。これに肺がんを加えた上位 5 位のがんによる死亡者はがん総死亡者の 76.94% を占めた。6～10 位は順に、白血病（3.84 人、2.83%）、脳腫瘍（3.13 人、2.30%）、乳がん（2.90 人、2.13%）、膵がん（2.62 人、1.93%）、骨がん（1.70 人、1.25%）だった。

死亡率上位 10 位のがんは性別により差異がある。上位 5 位は両性とも同じで、トップはいずれも肺がんだが、2 位と 3 位は、男性は肝がん、胃がんの順で、女性では胃がんの方が肝がんよりも死亡率が高かった。4 位と 5 位の順は食道がん、結腸及び直腸がんで同じである。6～10 位は性別での差異が比較的大きかった。白血病と脳腫瘍のほか、女性は生殖器系統のがん 3 種類、すなわち乳がん、子宮がん、子宮頸がんとなっている。男性は膵がん、膀胱がん、鼻咽がんとなっている。

上位 10 位のがんの死亡率にも明らかな性別での差異が認められる。表 3-7 は、7 種類の同部位のがんにおいて、男性の方が女性よりも死亡率が高いことを示している。例えば肝がんの死亡率の比率は、男性 2.60 に対して女性 1、食道がんは男性 2.17 に対して女性 1、肺がんは男性 2.08 に対して女性 1、胃がんは男性 1.96 に対して女性 1、結腸及び直腸がんは男性 1.31 に対して女性 1、脳腫瘍は男性 1.27 に対して女性 1 となっている。

表 3-7 2004～2005 年のサンプル地域における主ながん死亡率（人口 10 万人当たり）と構成（%）

順位	男女合計			男性部			女性部		
	種類	死亡率	構成比	種類	死亡率	構成比	種類	死亡率	構成比
1	肺がん	30.83	22.70	肺がん	41.34	24.30	肺がん	19.84	19.85
2	肝がん	26.26	19.33	肝がん	37.54	22.06	胃がん	16.59	16.60
3	胃がん	24.71	18.19	胃がん	32.46	19.08	肝がん	14.44	14.45
4	食道がん	15.21	11.19	食道がん	20.65	12.14	食道がん	9.51	9.51
5	結腸直腸がん	7.25	5.23	結腸直腸がん	8.19	4.81	結腸直腸がん	6.26	6.26
6	白血病	3.84	2.83	白血病	4.27	2.50	乳がん	5.90	5.90
7	脳腫瘍	3.13	2.30	脳腫瘍	3.50	2.06	白血病	3.41	3.42

8	乳がん	2.90	2.13	膵がん	2.94	1.73	子宮頸がん	2.86	2.86
9	膵がん	2.62	1.93	膀胱がん	2.13	1.25	脳腫瘍	2.74	2.74
10	骨がん	1.70	1.25	鼻咽がん	2.05	1.21	子宮がん	2.71	2.72
							*		
	上位 10 位	118.45	87.08	上位 10 位	155.07	91.14	上位 10 位	84.26	84.31

*子宮部位不詳

(2) がん死亡率上位 10 位の変化の傾向

第 2 回全国死亡原因調査と比べると、肺がん、肝がん、結腸及び直腸がん、乳がん、膀胱がんなどにおいて、がん粗死亡率が明らかに上昇している。上昇幅が最大だったのは肺がん (75.77%増) で、次いで乳がん (68.60%増)、膀胱がん (39.60%増)、結腸及び直腸がん (36.79%増)、肝がん (28.92%増) だった。標準化死亡比をみると、肺がんが 33.25%、乳がんが 32.89% 上昇した。肝がんと結腸及び直腸がんの上昇幅は小さい。

第 2 回全国死亡原因調査と比べると、子宮頸がんの粗死亡率が 25.93%、鼻咽がんが 16.09%、食道がんが 12.49%と明らかに低下している。標準化死亡比をみると、子宮頸がんは 42.68%、鼻咽がんは 33.99%、食道がんは 33.62%低下した。胃がんは標準化死亡比が 17.92%低下し、粗死亡率の減少幅を大きく上回った (表 3-8)。

表 3-8 第 3 回全国死亡原因調査：がん死亡率上位 10 位及び変化の傾向

指標/死亡原因	調査年代			1973～1990 年	1990～2004 年
	1973～1975 年 (1/10 万)	1990～1992 年 (1/10 万)	2004～2005 年 (1/10 万)	変化 (%)	変化 (%)
死亡率					
胃がん	17.40	25.16	24.71	44.60	-1.79
食道がん	16.70	17.38	15.21	4.07	-12.49
肝がん	10.75	20.37	26.26	89.49	28.92
子宮頸がん	5.55	1.89	1.40	-65.95	-25.93
肺がん	5.46	17.54	30.83	221.25	75.77
結腸直腸がん	4.17	5.30	7.25	27.10	36.79
白血病	2.54	3.64	3.84	43.31	5.49
鼻咽がん	1.99	1.74	1.46	-12.56	-16.09
乳がん	1.48	1.72	2.90	16.22	68.60
膀胱がん	0.51	1.01	1.41	98.04	39.60
標準化死亡比					

胃がん	17.70	21.76	17.86	22.94	-17.92
食道がん	17.10	15.02	9.97	-12.16	-33.62
肝がん	11.00	17.83	17.86	62.09	0.17
子宮頸がん	5.70	1.64	0.94	-71.23	-42.68
肺がん	5.60	15.19	20.24	171.25	33.25
大腸直腸がん	4.20	4.54	4.67	8.10	2.86
白血病	2.50	3.53	3.43	41.20	-2.83
鼻咽がん	2.00	1.53	1.01	-23.50	-33.99
乳がん	1.50	1.49	1.98	-0.67	32.89
膀胱がん	0.50	0.85	0.85	70.00	0.00

(3) がん死亡率上位 10 位の地域による差異

表 3-9 は都市部及び農村部のがんの死亡率、標準化死亡比及びその構成を示しており、都市部と農村部では死亡率の差異が比較的大きいことが分かる。都市部では肺がんの死亡率の高さが顕著で、人口 10 万人当たりで 40.98 人に達し、がんによる総死亡者数の 27.29% を占めた。農村部では肝がんの死亡率が高く、人口 10 万人当たり 26.93 人、全体の 20.94% を占めた。都市部は、結腸及び直腸がん、膵がん、乳がんの死亡率が農村部よりも高く、肝がん、胃がん、食道がんの死亡率は農村部よりも低かった。

都市部における死亡率の高いがんの 2～10 位は順に、肝がん、胃がん、食道がん、結腸及び直腸がん、膵がん、白血病、乳がん、脳腫瘍及び胆嚢がんだった。農村部では、肺がん、胃がん、食道がん、結腸及び直腸がん、白血病、脳腫瘍、乳がん、膵がん及び骨がんだった。

表 3-10 は、東部、中部、西部の都市のサンプル地域における死亡率上位 10 位のがんの差異を示している。東部、中部、西部の各地域におけるがん死亡率上位 5 位は肺がん、肝がん、胃がん、結腸及び直腸がん、食道がんが順位の違いも大きくない。しかしがんの種類別死亡率は大きな差異があり、東部と中部の都市では肺がんの死亡率が西部よりも高く、食道がんでは逆に西部よりも低い。

異なる地域の農村部の死亡率上位 5 位は肺がん、肝がん、胃がん、結腸及び直腸がん及び食道がんだったが、上位 3 位の順位は異なる。東部では肺がん、肝がん、胃がんの順、中部では肝がん、肺がん、胃がんの順、西部では肝がん、胃がん、肺がんの順だった。東部と中部の農村部の主ながんの死亡率の差は比較的小さく、また西部の農村部よりも明らかに高かった。

表 3-9 2004～2005 年のサンプル地域における都市部と農村部のがん死亡率及び構成

順位	種類	都市部			農村部			
		死亡率 1/10 万	標準化 死亡比	構成 (%)	種類	死亡率 1/10 万	標準化 死亡比	構成 (%)
1	肺がん	40.98	24.34	27.29	肝がん	26.93	19.32	20.94

2	肝がん	24.93	15.33	16.60	肺がん	25.71	17.87	19.99
3	胃がん	22.97	13.63	15.30	胃がん	25.58	17.64	19.89
4	食道がん	10.97	6.48	7.31	食道がん	17.34	12.01	13.48
5	結腸直腸がん	9.78	5.72	6.51	結腸直腸がん	5.96	4.07	4.64
6	膵がん	4.44	2.63	2.96	白血病	3.68	3.41	2.86
7	白血病	4.17	3.47	2.78	脳腫瘍	2.80	2.20	2.18
8	乳がん	3.98	2.47	2.65	乳がん	2.35	1.69	1.83
9	脳腫瘍	3.77	2.71	2.51	膵がん	1.70	1.20	1.32
10	胆嚢がん	2.13	1.23	1.42	骨がん	1.61	1.20	1.25
	上位 10 位	128.12	78.01	85.33	上位 10 位	113.66	80.61	88.38

表 3-10 2004～2005 年の東・中・西部サンプル地域におけるがん死亡率及び構成

順位	種類	東部			中部			西部				
		死亡率 (1/10 万)	標準 化死 亡比 (1/10 万)	死亡 率 (1/10 万)	種類	死亡率 (1/10 万)	標準 化死 亡比 (1/10 万)	死亡 率 (1/10 万)	種類	死亡 率 (1/10 万)	標準 化死 亡比 (1/10 万)	死亡 率 (1/10 万)
都市部												
1	肺がん	47.27	24.68	28.74	肺がん	39.76	25.98	27.50	肺がん	31.24	21.30	23.72
2	肝がん	25.76	14.31	15.66	肝がん	24.75	16.31	17.12	肝がん	23.68	16.32	17.99
3	胃がん	24.69	12.88	15.01	胃がん	23.13	15.10	16.00	胃がん	19.69	13.38	14.95
4	結腸直腸 がん	11.73	5.98	7.13	結腸直腸が ん	9.13	5.95	6.32	食道がん	15.43	10.52	11.72
5	食道がん	10.11	5.17	6.15	食道がん	8.73	5.66	6.04	結腸直腸 がん	7.11	4.78	5.40
6	膵がん	5.88	3.04	3.58	乳がん	4.20	2.78	2.90	白血病	4.36	3.88	3.31
7	白血病	4.32	3.34	2.63	脳腫瘍	3.99	2.97	2.76	脳腫瘍	3.46	2.65	2.63
8	乳がん	4.29	2.41	2.61	白血病	3.82	3.32	2.64	乳がん	3.14	2.15	2.38
9	脳腫瘍	3.79	2.59	2.31	膵がん	3.61	2.38	2.50	膵がん	2.91	2.00	2.21
10	胆嚢がん	2.77	1.38	1.68	骨がん	1.99	1.43	1.37	子宮頸が ん	1.76	1.21	1.34
	上位 10 位 合計	140.61	75.78	85.50	上位 10 位 合計	123.11	81.88	85.15	上位 10 位 合計	112.78	78.19	85.65
農村部												
1	肺がん	31.56	20.11	21.31	肝がん	27.72	20.45	21.00	肝がん	22.49	17.24	21.81
2	肝がん	30.09	19.96	20.32	肺がん	26.85	19.51	20.34	胃がん	22.28	16.47	21.62

3	胃がん	28.05	17.60	18.94	胃がん	26.07	18.72	19.75	肺がん	17.89	13.15	17.35
4	食道がん	21.04	13.35	14.21	食道がん	18.48	13.30	14.00	食道がん	11.89	8.83	11.53
5	結腸直腸がん	6.50	4.01	4.39	結腸直腸がん	6.04	4.29	4.57	結腸直腸がん	5.29	3.88	5.13
6	白血病	4.15	3.71	2.80	白血病	3.62	3.37	2.74	白血病	3.24	3.10	3.14
7	脳腫瘍	3.47	2.58	2.35	脳腫瘍	2.77	2.20	2.10	脳腫瘍	2.09	1.76	2.03
8	乳がん	2.78	1.85	1.88	乳がん	2.33	1.72	1.76	乳がん	1.90	1.47	1.84
9	膵がん	2.47	1.58	1.67	子宮がん*	1.88	1.38	1.42	子宮頸がん	1.50	1.15	1.46
10	骨がん	2.00	1.39	1.35	子宮頸がん	1.69	1.24	1.28	子宮がん	1.46	1.13	1.41
									*			
	上位 10 位 合計	132.11	86.14	89.22	上位 10 位 合計	117.45	86.18	88.96	上位 10 位 合計	90.02	68.18	87.32

* 子宮：子宮部位不詳

4. サンプル地域での各年齢層の主ながん

表 3-11 は、異なる年齢層における主ながんの死亡状況を示したものである。

0～15 歳の児童段階では、性別を問わず、死亡率には差異があるものの、白血病と脳腫瘍（神経系統のがんを含む）が最もよくみられる種類のがんであり、この 2 種類のがんによる死亡数が、同年代のがん総死亡者数の 70%以上を占めている。次いで、肝がん、腎がん、悪性リンパ腫、悪性骨腫瘍などが続き、総死亡者数の 2～6%を占めている。

15～44 歳の青壮年層で最もよく見られるがんは、肝がん、肺がん、白血病、胃がんで、当該年齢層におけるがん死亡原因の 10.17～27.88%、計 62.76%を占める。男性の主ながんは、肝がん、肺がん、白血病、胃がんで、この 4 種類でがん総死亡者数の 72.17%を占めた。女性は肝がん、白血病、乳がん、肺がん、胃がんが主ながん、全体の 62.76%を占めた。

45～64 歳の中年層で最もよく見受けられるがんは、肝がん、肺がん、胃がん、食道がんで、当該年齢層におけるがん死亡原因の 10.86～23.79%、計 72.54%を占める。男性の主ながんは、肝がん、肺がん、胃がん、食道がんで、それぞれ当該年齢層の男性がん総死亡者の 12.13～27.74%、計 80.53%を占める。女性は肺がん、肝がん、胃がん、乳がんが主ながん、それぞれ 9.19～18.12%、計 57.15%を占める。

65 歳以上の高齢者層では、肺がんが死亡原因トップで、次いで胃がん、肝がん、食道がんの順で、それぞれ 12.88～25.70%、計 74.27%を占めた。高齢者層の男性と女性の上位 4 位のがんは同じで、肺がん、胃がん、肝がん、食道がんの順だった。男性はこの 4 種で全体の 78.16%、女性は 67.66%を占めた。

表 3-11 2004～2005 年の中国全土のサンプル地域における年齢層別がん死亡構成 (%)

順番	0～4 歳		5～14 歳		15～44 歳		45～64 歳		65 歳以上	
	種類	構成	種類	構成	種類	構成	種類	構成	種類	構成
男性										
1	白血病	55.07	白血病	53.64	肝がん	37.09	肝がん	27.74	肺がん	27.53
2	脳腫瘍	17.18	脳腫瘍	20.45	肺がん	14.55	肺がん	22.34	胃がん	21.30
3	肝がん	4.41	肝がん	5.87	白血病	10.54	胃がん	18.32	肝がん	15.75
4	腎がん	2.20	骨がん	5.67	胃がん	9.99	食道がん	12.13	食道がん	13.58
5	悪性リンパ腫	2.20	悪性リンパ腫	4.25	脳腫瘍	4.94	結腸直腸がん	3.99	大腸直腸がん	5.50
6	皮膚がん	1.76	抹消神経がん	0.81	結腸直腸がん	4.43	脳腫瘍	2.17	膵がん	1.86
7	眼がん	1.76	腎がん	0.61	食道がん	4.12	白血病	1.80	前立腺がん	1.84
8	中腔器官がん	1.32	結腸直腸がん	0.61	鼻咽がん	2.48	膵がん	1.67	膀胱がん	1.82
9	骨がん	1.32	多発性骨髄腫	0.61	骨がん	2.05	鼻咽がん	1.54	脳腫瘍	1.31
10	胆嚢がん	0.88	皮膚がん	0.40	悪性リンパ腫	1.97	骨がん	1.09	白血病	1.12
女性										
1	白血病	58.25	白血病	56.93	肝がん	13.68	肺がん	18.12	肺がん	22.60
2	脳腫瘍	17.53	脳腫瘍	19.88	白血病	12.59	肝がん	15.72	胃がん	19.36
3	眼がん	4.12	骨がん	5.42	乳がん	11.68	胃がん	14.12	肝がん	14.01
4	悪性リンパ腫	3.61	悪性リンパ腫	3.92	肺がん	11.54	乳がん	9.19	食道がん	11.69
5	腎がん	3.61	肝がん	3.01	胃がん	10.46	食道がん	8.27	結腸直腸がん	7.03
6	肝がん	2.58	腎がん	0.90	脳腫瘍	6.02	大腸直腸がん	5.39	乳がん	3.03
7	骨がん	2.06	肺がん	0.90	子宮頸がん	5.77	子宮頸がん	3.81	膵がん	2.63
8	大腸直腸がん	1.03	結腸直腸がん	0.60	結腸直腸がん	5.20	子宮がん	3.63	子宮がん	1.87

9	皮膚黒色腫	1.03	腎盂がん	0.60	子宮がん	4.66	白血病	2.94	脳腫瘍	1.85
10	口腔がん	0.52	多発性 骨髄腫	0.60	骨がん	2.09	脳腫瘍	2.88	子宮頸 がん	1.83

5.中国のがん死亡状況の国際比較

(1) 死亡率及びその変化の国際比較

国際がん研究機関の統計（2002年）と比べると（世界人口の年齢構成による標準化で）、全国サンプル地域におけるがん死亡率は、男性は世界平均より16%高く、発展途上国平均よりも35%高く、先進国平均よりも5%低かった。女性は世界平均より8%低く、発展途上国平均よりも若干高く、先進国平均よりも17%低かった（表3-12）。

国別に比較すると、中国の男性のがん死亡率は欧州の国の多くより高く、また米国よりも高かった。アジアの中では平均より高く、シンガポールとほぼ同じで、日本、タイ、マレーシアよりも高かった。中国の女性のがん死亡率は平均を下回った。

表3-12 中国と世界主要国のがん性別世界人口標準化死亡比（1/10万）

国名	男	女	国名	男	女
全世界	137.7	92.1	ポルトガル	160.2	87.3
先進国	169.9	102.5	ニュージーランド	159.7	127.0
発展途上国	119.2	83.1	ルーマニア	159.4	93.7
ハンガリー	271.4	145.1	ノルウェー	156.7	109.1
チェコ	216.4	126.6	日本	154.3	82.2
ロシア	205.0	101.6	米国	152.6	111.9
ポーランド	203.5	110.6	チリ	148.9	114.4
ベルギー	198.5	113.8	ギリシア	148.2	81.9
オランダ	181.6	119.8	マルタ	147.3	102.5
デンマーク	179.2	148.1	オーストラリア	147.1	99.0
スペイン	173.6	81.9	ペルー	141.2	146.3
イタリア	170.9	95.2	スウェーデン	135.1	102.8
アイルランド	168.4	123.7	ブラジル	122.0	89.2
英国	162.3	122.7	タイ	119.7	79.3
ドイツ	161.8	110.4	マレーシア	118.2	88.7
シンガポール	161.3	108.7	ベネズエラ	101.5	95.1
中国	160.4	85.2	エジプト	87.7	64.9

中国は今回調査。資料出所は WHO 世界衛生統計年報。

世界保健機関の統計に基づき、表 3-13 で中国と主要国の 20 世紀 1970 年代、1990 年代、21 世紀初頭におけるがん死亡率の変化の状況を示した。最近の 30 数年来、多くの国、特に欧米先進国で、男性のがん死亡率が低下している。例えばドイツは、がんの死亡率が 1970 年代の人口 10 万人当たり 194 人から 90 年代には 178 人に減少し、2002 年には 161.8 人にまで下がった。オーストラリアは 1970 年代の 159 人から 1990 年代には 157 人に、2002 年には 147 人に低下した。シンガポールは 1970 年代の 202 人から 1990 年代は 164 人に、2002 年は 161 人に低下した。中国の男性のがん死亡率は、20 世紀末までは基本的に上昇傾向にあり、21 世紀に入って低下に転じた。変化は緩慢で、欧州の国の一部よりも低くなっているものの、多くの先進国の水準に近づいている。

世界の主要国の中には、女性のがん死亡率が低下しているところもある。現在と 1990 年代を比べると、日本、シンガポールでは上昇している。中国の女性のがん死亡率は 1990 年代と比べて低く、ほとんどの先進国よりも低い（表 3-13）。

表 3-13 中国と世界主要国のがん死亡率の 30 年の変動状況（1/10 万）

国名	1970 年代		1990 年代		2002 年	
	男	女	男	女	男	女
中国	119.6	80.7	162.4	89.1	160.4	85.2
米国	162.7	108.4	164.1	111.3	152.6	111.9
チェコ	218.4	121.0	235.2	125.6	216.1	122.6
ドイツ	194.0	128.3	177.6	109.0	161.8	110.4
オランダ	210.5	113.6	186.9	107.4	181.6	119.8
スウェーデン	148.0	111.0	126.8	97.6	135.1	102.8
オーストラリア	159.6	100.8	157.3	98.6	147.1	99.0
日本	149.6	91.3	146.6	73.9	154.3	82.2
シンガポール	202.0	100.8	164.4	100.4	161.3	108.7

資料出所は WHO 世界衛生統計年報。

(2) 主ながん死亡率の国際比較

世界の同期間におけるがん死亡率と比べると、全国サンプル地域における男性のがん標準化死亡比は世界平均よりも 16% 高く、先進国平均よりも 5% 低く、発展途上国の平均よりも 35% 高かった。女性は世界平均よりも 8% 低く、先進国平均よりも 17% 低く、発展途上国の平均よりもやや高かった（表 3-14）。

死亡原因となったがんの種類は、中国の男性で世界平均を上回ったのは、肺がん、胃がん、肝がん、食道がん、脳腫瘍だった。世界平均を下回ったのは、結腸及び直腸がん、膵がんだった。

た。中国の女性で世界平均を上回ったのは、肺がん、肝がん、胃がん、食道がん、脳腫瘍だった。下回ったのは結腸及び直腸がん、乳がん、膵がん、子宮頸がんだった。

表 3-14 中国と世界主要国の主ながんの年齢調整死亡率 (1/10 万)

種類	男				女			
	中国	全世界	先進国	発展途 上国	中国	全世界	先進国	発展途 上国
合計	160.4	137.7	169.6	19.2	85.2	92.1	102.5	83.1
肺がん	39.1	31.2	47.6	22.9	16.7	10.3	13.6	8.3
肝がん	34.6	14.9	8.0	17.4	12.3	5.7	3.0	6.9
胃がん	30.8	16.3	14.5	17.0	13.8	7.9	6.9	8.3
食道がん	19.7	9.6	5.8	11.4	8.0	3.9	1.2	5.4
直腸大腸がん	7.7	10.2	17.7	6.2	5.2	7.6	12.3	4.7
白血病	4.2	4.3	5.5	3.5	3.3	3.1	3.6	2.6
脳腫瘍	3.3	2.8	4.1	2.2	2.5	2.0	2.7	1.6
乳がん	—	—	—	—	5.1	13.2	18.1	10.3
膵がん	2.8	4.4	8.0	2.6	1.9	3.3	5.4	2.0
子宮頸がん	—	—	—	—	2.5	9.0	4.0	11.2

国際データは国際がん研究機関 (IARC) の Globocan2002 から引用。死亡率は世界人口構成に基づき標準化した。

第4章 がん死亡症例多発県（市）のがん死亡状況

1. 概論

(1) がん死亡症例多発地域の定義と範囲

がん死亡症例多発地域の定義：20世紀1970年代に実施された第1回全国死亡原因調査ではまず、当時の中国におけるがん死亡水準と分布の様子について把握し、中国でよく見られるがん（胃がん、食道がん、肝がん、子宮頸がん、肺がん、結腸がん、直腸がん、鼻咽がんなど）の流行特性を調査して、がん死亡率分布図を作成した。また専門家チームを設け統計分析を進め、中国におけるがん死亡率が高水準である地域を、がん死亡症例多発地域と称することとした（表4-1）。

表4-1 中国のがん死亡症例が多い部位及び「多発」の定義

部位	死亡率が高いとみなす水準
胃がん	全国平均の2.4倍以上
食道がん	全国平均の3.0倍以上
肝がん	全国平均の2.0倍以上
子宮頸がん	全国平均の5.0倍以上
肺がん	全国平均の2.2倍以上
大腸がん	全国平均の1.8倍以上
鼻咽がん	全国平均の1.6倍以上

がん死亡症例多発地域の範囲：第1回全国死亡原因調査結果に基づき、中国の胃がん死亡症例多発地域は、西北部と沿海部の各省に集中していることが分かった。特に甘粛省、青海省、寧夏回族自治区、上海市、江蘇省、浙江省、福建省及び遼東半島などの地域で突出していた。食道がん死亡症例多発地域は、河南省、河北省に集中していた。また死亡率が高い地域から低い地域が段階的に存在しており、大多数の地域において、死亡率が高い地域は不規則な同心円状に分布していた。肝がん死亡症例多発地域は東南部沿海各省及び東北部の吉林省に集中しており、広西チワン族自治区や江蘇省などの沿海部で目立って多く、中国東南部海岸から内地に向かって帯状に分布している。子宮頸がん死亡症例多発地域は面的に連なり、内モンゴル自治区、山西省、陝西省を経て湖北省、湖南省、江西チワン族自治区に至っている。肺がん死亡症例多発地域は、北京市、天津市、上海市及び東北部の3省、浙江省の沿海地域に集中している。腸がん死亡症例多発地域は、浙江省、江蘇省及び上海市などの長江下流地域に集中し、血吸虫の分布と相関関係があった。鼻咽がん死亡症例多発地域は、広東省、広西チワン族自治区、湖南省、福建省、江西省など華南各省に集中していた。

(2) がん死亡症例多発地域サンプル県（市）の選択

第1回全国死亡原因調査の結果を根拠として、専門家は河北省、福建省、甘粛省、遼寧省、

江蘇省、山西省、四川省、陝西省、山東省、湖北省、新疆ウイグル自治区、浙江省、雲南省、広東省、広西チワン族自治区、江西省、湖南省の18省区から39県（区）を選択してがん死亡症例多発地域のサンプル地点とし、胃がんのサンプル地点9カ所、食道がん15カ所、肝がん9カ所、肺がん4カ所、大腸がん5カ所、鼻咽がん5カ所、子宮頸がん7カ所を含む地点で追跡調査と現場検証を行なった。またこれら地点の約3分の1が複数のがんのサンプル地点となった。

2. がん死亡症例多発地域サンプル県（市）の基本状況

第3回全国死亡原因調査の結果、がん死亡症例多発地域39県（市）のがんの総粗死亡率は人口10万人当たり84.85～300.87人、標準化死亡比は58.53～199.63人、がん死亡者の全死亡原因に占める比率は14.58～43.56%だった（表4-2）

表4-2 2004～2005年のがん死亡症例多発県（市）のがん死亡状況

調査地域	多いがん	死亡率 (1/10万)	標準化 死亡比 (1/10 万)	全死亡原 因に占め る比率 (%)	死亡 原因 順位	全死亡 原因死 亡率 (‰)
全国サンプル地域	—	135.88	91.24	22.32	2	6.09
そのうち都市部	—	150.18	91.41	25.03	1	6.00
農村部	—	128.65	91.19	20.98	2	6.13
河北省贊皇県	胃、食道	178.24	125.79	27.97	2	6.37
河北省涉県	胃、食道	189.81	142.71	29.67	2	6.40
福建省長楽市	胃、肝	147.24	104.37	26.15	1	5.63
河南省林州市	胃、食道	151.09	109.10	22.82	2	6.62
河南省済源市	胃、食道	160.43	131.67	26.07	2	6.15
甘肅省武威市涼州区	胃	201.38	199.63	33.21	1	6.06
遼寧省莊河市	胃	163.32	91.31	25.64	2	6.37
江蘇省揚中市	胃、食道、肝、結腸	300.87	140.62	42.18	1	7.13
山東省臨朐県	胃	157.12	93.69	25.01	1	6.28
山西省陽泉市城区	食道	84.85	58.88	19.46	2	4.36
江蘇省淮安市楚州区	食道	168.14	119.97	29.06	1	5.79
河北省磁県	食道	197.59	183.76	32.37	1	6.10
山西省陽城県	食道	191.08	163.70	27.14	2	7.04
江蘇省大豊市	食道、肝	204.78	163.26	30.64	1	6.68
四川省塩亭県	食道	230.37	130.18	31.64	1	7.28

陝西省佳県	食道	196.39	154.53	32.55	1	6.03
江蘇省泰興市	食道、肝、結腸直腸	294.60	115.57	43.56	1	6.76
山東省肥城市	食道	201.99	125.94	28.57	1	7.07
湖北省麻城市	食道	91.89	86.15	15.80	3	5.82
新疆ウイグル自治区 新源县	食道	111.48	109.37	18.43	1	6.05
江蘇省啓東市	肝	235.61	103.98	29.53	1	7.98
江蘇省海門市	肝、肺	234.27	108.15	29.00	1	8.08
浙江省嘉善県	肝、結腸直腸	207.32	92.48	29.68	1	6.99
福建省廈門市同安区	肝、結腸直腸	156.71	110.55	25.50	1	6.14
広西チワン族自治区 扶綏県	肝、鼻咽	100.70	83.33	16.97	3	5.93
雲南省宣威市	肺	156.22	142.39	24.82	1	6.30
雲南省箇旧市	肺	92.15	58.53	15.32	2	6.01
浙江省海寧市	結腸直腸	136.98	76.69	19.60	1	6.99
広東省四会市	鼻咽	90.35	67.20	14.58	3	6.36
広東省中山市	鼻咽	118.77	81.88	19.63	2	6.05
広西チワン族自治区 梧州市	鼻咽	104.30	63.16	22.53	1	4.63
広西チワン族自治区 蒼梧県	鼻咽	100.49	81.65	16.67	3	6.03
河北省赤城県	子宮頸	102.46	70.49	17.08	3	6.00
山西省襄垣県	子宮頸	149.46	119.53	25.11	2	5.95
江西省修水県	子宮頸	106.75	78.17	19.10	2	5.59
江西省靖安県	子宮頸	95.22	64.48	15.86	3	6.01
湖北省五峰県	子宮頸	119.18	61.34	18.99	3	6.27
湖南省岳陽市城区	子宮頸	99.86	70.94	21.39	1	4.67
陝西省略陽県	子宮頸	95.47	73.87	14.85	3	6.43

表 4-2 は、全国の都市部と農村部のがん死亡症例多発 39 県（市）のがん死亡率と構成の状況を示したものである。全国サンプル地域と比較すると、がん死亡症例多発 39 県（市）のうち 24 県（市）（全体の 61.5%）でがんの標準化死亡比が全国平均を上回った。7 県（市）（17.9%）で、全国平均を 50%以上上回った。6 県（市）において、がんによる死亡者数が総死亡数の 30%を上回った。がん死亡症例多発県（市）のがんは全て死亡原因の上位 3 位に入っており、そのうち 1 位は 21 県（市）だった。